

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090300597		
法人名	エフピー介護サービス株式会社		
事業所名	グループホーム古里		
所在地	長野県上田市上野56-19		
自己評価作成日	令和4年6月11日	評価結果市町村受理日	令和4年8月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&Ijizvosv0d=2090300597-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和4年6月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の状態を把握し、出来る事と出来ない事を見極め、出来る事は見守り出来ない事はお手伝いさせていただきます。 ・ドライブやお花見、買い物、等で外出によりリフレッシュしたり気分転換を行い日々の生活を充実させる。 ・職員同士コミュニケーションを図り常に利用者様の情報共有を行っている。 ・食事には常に旬の食材を取り入れメニュー作りを行い全て手作りの食事を心掛け、イベント職も多く取り入れている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当ホームは上田市から北佐久郡軽井沢町まで東西に繋がる浅間サンライン(浅間山麓広域農道)北側の閑静な住宅街の中にある。ホームの前庭からの眺望は素晴らしく、北アルプス・太郎山・菅平・烏帽子岳・浅間山・蓼科山を望み、住宅街周辺にも田園が広がり、新緑から紅葉まで四季の移ろいを間近で感じることができる。ホームのある上野地区は行政上の区では上田市神科地区に属し、東西に上信越自動車道が横断し、果樹・花卉・米などの生産が盛んに行われ、昔は桑畑もあったが、近年、住宅地が急速に増え発展している。当ホームの開設は2020年6月で、時あたかも新型コロナウイルス感染第一波の最中であった。すぐ近くには同じ法人が運営する有料老人ホームがあり、その施設を母体として法人の上田エリアとして互いに連携をとり、地域の特性を活かしたケアに取り組んでいる。有料老人ホームからの異動で当ホームの立ち上げに関わった職員が数名おり、法人の経営理念、ミッション、社是、法人スローガン、介護方針等を周知徹底しており、利用者も安心して穏やかに生活ができています。現在、新型コロナウイルスの影響を受け地域の人々との交流は難しく、また、通常の外出も含め利用者の活動の範囲が狭まっているが、今後の収束に向けた中で徐々に進めていこうとしている。新型コロナウイルスが収束すれば母体ともいうべき有料老人ホームのノウハウから地域の人々や小学校児童等との交流はすぐ立ち上げられるようになっている。今年度も高校生の職場体験を受け入れる予定があり、利用者との交流の場が広がっていくものと思われる。新型コロナウイルス禍で家族との面会は窓越しあるいはタブレットを使用してリモートで行うようになっており、面会の際には職員から日々の状況を細かく話し、また、担当職員が利用者一人ひとりの日常を手書きのおたよりとして纏め、写真と共に毎月お知らせしている。合わせてホームの「古里あおぞら通信」も毎月発行し、更に、法人のホームページには当ホームブログコーナーがあり、利用者の暮らしぶりを小まめに伝えており家族からも好評を得ている。開設から2年という間もないホームであるが法人のグループホームのノウハウを十分に活かし、利用者一人ひとりが満足するためのサービス計画を立て、利用者寄り添って支援している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		